

冬商談 秋商品 新商品263点を発表

SDGs対応学童文具など

クツワ株式会社(寺浦浩之社長、東大阪市)は、8月1日〜9月2日、東大阪市・長田の大阪営業本社、東京・墨田区の東京支社で、「2022年秋冬新商品商談会」を事前予約制で開催している。

会場では、秋から冬にかけて発売する新商品98アイテム263点を発表。このうち、学童文具では初となる地球にやさしいサステイナブルな文具「イイコト」シリーズや短くなった鉛筆をうまく再利用できる鉛筆ホルダー「シンロケット鉛筆」など環境意識への高まりに対応した新商品をほじめ、新開発の片手でめくれる単語カード「ワン」



資源再利用と減プラの「イイコト」シリーズ

商品数を多数発表した。商品以外では、商品につけているベルマークデザインを、国内絶滅危惧種のイラストに刷新。生物の環境問題を学ぶ「STANDオリジナルペルマーク」を導入する。

新製品の概要は次の通り。学童文具の新商品は、サステイナブルな文具「イイコト」シリーズ(10月発売、短くなった鉛筆を再利用できる「シンロケット鉛筆」(11月発売)、新開発の片手でめくれる単語カード「ワン」(11月発売)、スリムなペン型コンパス「スリム」(同)、飛び方に合わせて最適な長さに調整できる「トベル」(同)、学童収納箱「ワン」(11月発売)「第2弾」(同)。

このうち、「イイコト」シリーズは、ホチヤやたまごの殻を捨てたものを再利用し、窓付きの形状にする「ワン」

「エゴ」を学童文具で見つめてみよう」をコンセプトに「イイコト」シリーズを新しく立ち上げた。商品やパッケージの説明を通して、「エゴ」を楽しく学べると。今回は、第1弾としてホチヤ・たまご殻・紙屑の3つの廃棄物を原材料に活用した鉛筆「エゴ」や鉛筆ホルダーを発売する。また、モノを大切に使うことを楽しく体感できる商品として、短くなった鉛筆を再利用する「シンロケット鉛筆」を発売した。さらに、弊社が長年協賛している「ベルマーク運動」の活性化のために、ベルマーク部分をラッコやシジュゴンなどの10数種類の絶滅危惧種を可愛らしくイラスト化

「ノートPCカバー」は、同社の調査で、教室移動や課外授業の際、生徒の70%がノートパソコンを落とした経験があると回答。調査結果を踏まえて、業界で初となるノートPCの落下防止に着目した商品を開発した。本体にカバーを装着したまま操作できる。特許出願済。

マグネット筆入れの新製品「11月発売」は、トレンドのペルカラーで展開したラメぶつくり2ドア筆入れ「ペルカラー筆入れ」、「学び」の要素を取り入れた「学べる2ドア筆入れ」(海洋生物、恐竜博士、駅名の3種類)、くまのがっこう筆入れ、「くまのがっこう」のキャラクター「くまのり」の追加など。

PUMA新商品は、鉛筆ホルダー付きなどの「新ペン」シリーズ(9月発売)、今年11月のサッカー「ワールドカップ」に合わせた限定企画「世界大会」シリーズ(10月発売)。

ハイライン新商品は、倒れない吸盤機能を使用したペンケース「エクレタ」シリーズの新商品(10月発売)、マスキングテープ用カッター「マスキングテープ」(11月発売)、「繰り出し鉛筆のテマ売」(繰り出し鉛筆のテーマ別3色セット「クリクル」)第2弾(同)「スマホやタレット」(11月発売)。



環境問題への関心高めるベルマークデザイン

このうち、人気の「エクレタ」は倒れない吸盤機能を使用して女子デスクを彩る新商品21点を展開。このほか、女子に人気のマスキングテープやデコレーションの関連アイテムの展開など女子文具を一気に充実した。

収納関連の新商品は、リュック用のバッグインバッグ「ハサンド」(9月発売)、働く人をサポートする収納シリーズ「ドクターイオン」リニューアル(2月発売)、女性向け収納の新シリーズ「ラフィット」(同)。

このうち「ラフィット」は、女性向けのオフィス収納の新ブランドで、フリーアドレスに対応するノートパソコンの持ち運びバッグとデスク周りのツールの持ち運びボックスをラインアップ。同社商品開発の女性陣が働く女性目線で、自分たちが欲しいものをもと、細部までこだわり、商品化。キャラクター新製品は、キャラクターは来年の干支「つさぎ」モチーフのアクションペン(12月発売)、ミッフィーキーホルド展開した「そえがみ」(9月発売)、ミッフィー、スヌーピーとフレンドリーボールペン「フレンド」の2色バージョン(10月発売)、北欧ブランド「MOZ」ペンポーチシリーズの秋冬物(同)など、多彩な新製品を発表した。

「女子文具」を強化

ベルオリジナルデザインに

寺浦社長は商談会開催にあたって「大阪本社と東京支社のショールームで、8月初旬から1カ月間開催しているが、会期以降も展示を継続する。会場では感染対策を徹底するとともに、安心してゆつくりと商品を見てもらうために事前予約制での来場をお願いしている。今回は新入学生、新学期の新商品SDGsをテーマにした新商品機能性とデザイン性を重視した収納グッズ



クツワ・寺浦社長

「エゴ」を学童文具で見つめてみよう」をコンセプトに「イイコト」シリーズを新しく立ち上げた。商品やパッケージの説明を通して、「エゴ」を楽しく学べると。今回は、第1弾としてホチヤ・たまご殻・紙屑の3つの廃棄物を原材料に活用した鉛筆「エゴ」や鉛筆ホルダーを発売する。また、モノを大切に使うことを楽しく体感できる商品として、短くなった鉛筆を再利用する「シンロケット鉛筆」を発売した。さらに、弊社が長年協賛している「ベルマーク運動」の活性化のために、ベルマーク部分をラッコやシジュゴンなどの10数種類の絶滅危惧種を可愛らしくイラスト化

文具検定の模擬試験

9月1日より3カ月間実施

有限会社文具屋さんドットコムが運営し、文具専門紙「月刊文具」が主催する「文具検定」が、9月1日〜11月30日までの3カ月間実施する。模擬試験が、9月1日〜11月30日までの3カ月間実施する。

月刊文具(紙製)新刊「文具検定」が、日本文具新聞社、文具検定協会、日本文具検定協会が共催する「文具検定」が、9月1日〜11月30日までの3カ月間実施する。

模擬試験の開催内容は、一般編問題(規格・呼称、製品知識、一般知識、SDGsなど)文具、創業時を作っている。

文具検定とは、文具をもっと知り、もっと楽しむための知識を養う試験。文具に関する一般編問題からメーカー別の企業問題まで、幅広い出題構成で、業界に携わる人や文具好きな人が深く理解できる内容となっている。4択形式の設問で文具初心者も気軽に挑戦できる。

模擬試験の出題内容は、一般編問題(規格・呼称、製品知識、一般知識、SDGsなど)文具、創業時を作っている。

www.bungukentei.jp/



ニッケン文具株式会社

本社 〒577-0013 東大阪市長田中4丁目5番44号
TEL(06)6747-7711・FAX(06)6747-5557

代表取締役会長 徳弘 滋 代表取締役社長 徳弘 恭子

第一支店・第二支店・中央支店・関西支店
第七支店・なみはや支店・SRD事業部
東京支店・関東支店・東支店・名古屋支店
四国支店・九州支店・札幌支店

グループ会社 株式会社 エヌケイ深井

封筒は企業の「顔」。
私たちは
企業の顔を大切にします。



FUJIX フジックス株式会社

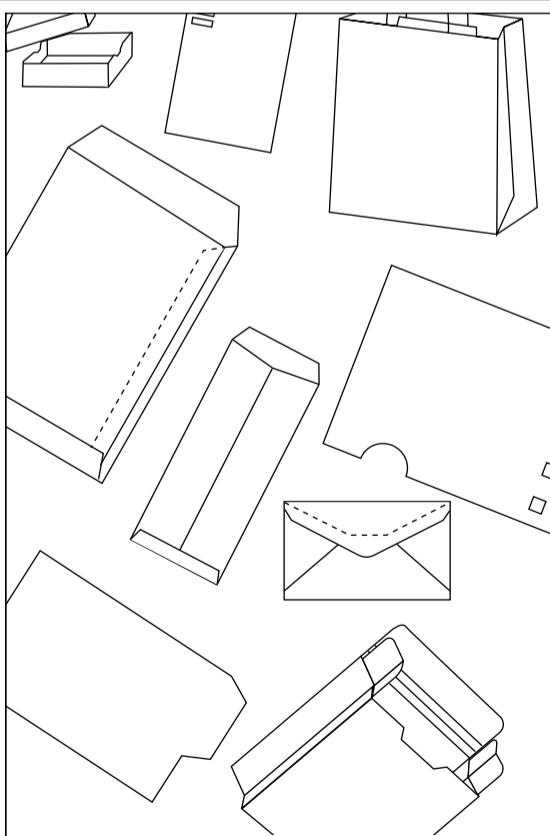
http://www.fujix-kk.com

本社 〒577-0066 東大阪市高井田本通2-7-18 TEL.(06)6784-3900(代) FAX.(06)6784-4100
東京営業所 〒140-0002 東京都品川区東品川1-25-3 TEL.(03)5495-7521(代) FAX.(03)5495-0622
名古屋営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-7-6 TEL.(052)209-5580(代) FAX.(052)204-3200

株式会社 ヤマガタ



月印紙製品
http://le-yamagata.com



紙製品は、お客様の想いを届けるための大切なツールと考えております。
製品を通じて社会貢献につながる喜びに感謝しつつ
一つ一つ大切に作り、大切にお届けしてまいります。